

挑む!

プロボクサー

久田 哲也さん(33)

心も強化 30歳から11連勝中



堺市生まれ。19歳でプロデビューし、2017年4月に32歳で日本ライトフライ級王者に。11月16日にエディオンアリーナ大阪で5度目の防衛戦を予定。

ピークは20歳代にあるとされるプロボクサーの一人だった。30歳を前に、もくシングで、30歳から快進撃を続けている。ハラダボクシングジム（大阪市住之江区）の日本ライトフライ級王者・久田哲也は、現在11連勝中だ。20歳代まで21勝8敗2分け。中堅ボクサーの一人だった。30歳を前に、もう辞めようかと悩んだ。ボクシングだけでは食べられず、二つのアルバイトを掛け持ちしていたが、全てが中途半端に思えた。思いとどまれたのは長女の一歌ちゃんいっかちゃんの存在だった。「この子

が大きくなった時、夢をあきらめたパパだと思われたくない」。あと1年だけやってみないと、同じ年の妻淳子さんに打ち明けた。バイトを減らし、取り組み方を変えた。

技術的な改善と同じく、メンタル強化に力を入れた。「強い人ほど、俺は絶対できるという思い込みが強い」と気付いた。自分を励ますような曲を何百回と聴いた。試合前は仏壇の前に座り、落ち着いた状態で相手との攻防を細かくイメージする。世界王者になっている自分の写真を合成でつくり、トイレに貼った。30歳になって初戦は負けたが、次の試合で最終ラウンドに大逆転勝ち。そこから連勝が始まった。「ここまで来たら絶対、世界チャンピオンになりますよ」。自分に言い聞かせるように、歯切れが良かった。

文・写真 伊藤雅哉

記者から

東京の大手ジムのように簡単に世界戦は決まらないが、あと少し。ぜひ大舞台で見たい選手だ。